

「阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」
第2回助成・事業実施報告書

1. 基本事項

団 体 名	特定非営利活動法人 大阪海さくら		
事 業 名 称	大阪湾でアマモを育て海の生物を知ろう、淀川ゴミ拾い『大阪海さくら』	助成額	50万円
申請事業の概要	「大阪市民が海の素晴らしさを学び、自然豊かな大阪湾になって、みんなで幸せになる」ため、淀川下流の定期清掃などの海の清掃活動、アマモ移植活動、海の生物や大阪湾を知る活動の3つの柱で活動を行っています。		
申請事業の目的	子どもたちが安心して遊べる豊かな海を取り戻し、自然を学びみんなが幸せになることを大きな目的としています。町のごみを海へ行かせないよう少しでもきれいに、まず身近な大阪湾から全国へと拡大させていこう！という活動です。大阪湾は持続的な海洋生物の保全に必要な干潟やアマモ場がありません。豊かな海を取り戻すため、アマモ場を形成に必要なアマモの移植活動。本地域のアマモ場及び、海洋生物の保全の目的で、大阪湾沿岸及び、淀川河口流域の清掃活動。さらに音楽やマリンスポーツのイベントなどをして、ゴミ拾いやアマモの現状や重要性を普及啓発し巻き込んでいきます。今後の大阪湾のアマモ場保全を持続していくために、生き物観察会など環境学習を実施します。		
関連するSDGs目標	 	目標 1 3「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」 目標 1 4「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する」	

2. 助成事業の実績・成果等について

<p>・毎月一回の淀川定期清掃開催 130回 10/16（日）WORLD CLEANUP DAY 同時開催（参加人数 40人・ごみ袋 45袋）131回 11/20（日）（参加人数 14人・ごみ袋 14袋）132回 12/18（日）（参加人数 43人・ごみ袋 35袋）133回 1/15（日）（参加人数 24人・ごみ袋 25袋）134回 2/19（日） 荒天につき開催中止 135回 3/19（日）（参加人数 15人・ごみ袋 16袋、せんなん里海フェス+大阪湾フォーラム@泉南市、同時開催）136回 4/19（日）（参加人数 37人・ごみ袋 33袋）137回 5/22（日）（参加人数 34人・ごみ袋 37袋）138回 6/18（日）（参加人数 40人・ごみ袋 45袋、海未来@大阪城公園東堀も同時参加）139回 7/16（日）ブルーサントの日同時開催（参加人数 35人・ごみ袋 41袋）140回 8/24（日）（参加人数 34人・ごみ袋 37袋）141回 9/17（日）（参加人数 29人・ごみ袋 23袋）</p> <p>・全国アマモサミット 2022in たてやま@千葉県館山市 10/28（金）10/29（土）10/30（日）参加</p> <p>・アマモポット作成 11/13（日）実施</p> <p>・江井ヶ島海洋調査地曳き網、海洋生物観察会協力@兵庫県明石市 11/27（日）参加</p> <p>・活動広報イベント「おっさんずライブ」@堺市 11/27（日）開催</p> <p>・活動広報イベント「街のごみ拾い」「大阪海さくら Smile10周年@北区 1/29（日）ライブパーティー開催</p> <p>・アマモの苗の移植会「海のごみ拾い」「アマモ移植会」@岸和田市阪南2区ちきりアイランド 3/11（土）開催</p> <p>・ちきりアイランドアマモ追跡調査@岸和田市 4/14（金）4/21（金）5/24（水）6/17（土）実施</p> <p>・でんぼう港まつり@此花区 5/21（日）清掃部隊として参加</p> <p>・日生港アマモ花枝採取@岡山県日生市 5/26（金）参加</p> <p>・江の島海さくら@神奈川県鎌倉市 5/27（土）参加</p> <p>・ブルーオーシャンフェス@鶴見区鶴見緑地 6/3（土）参加</p> <p>・江井ヶ島アマモ場の花枝採取、養生開始、海洋生物調査のための地曳き網@兵庫県明石市 6/4（日）参加</p> <p>・海遊館コラボイベント @港区 6/11（日）共催</p>

- ・大阪湾生き物一斉調査参加@兵庫県神戸市須磨海岸 6/3 延期→6/17 (土) 参加
- ・海未来大阪城お堀クリーンアップ@中央区 6/18 (日) 参加
- ・海の冒険王になろう、帆船みらいへ共催@兵庫県神戸市 60名参加 7/4 (日) 開催
- ・国連・G E Cなにわエコ会議・ガールスカウト共催のセミナー@中央区 8/17 (木) 講師として参加
- ・ゴミ拾いイベント、河川レンジャー、海未来と共催@淀川伝法漁港 (89名 36袋+海底ゴミ 166キロ) 9/10 (日) 開催
- ・6月～10月アマモ養生、種の選別 8/5 (土) など
- ・その他、企業さんご依頼ゴミ拾いコーディネートなど 10回程度



3. 課題分析や今後の発展性

例えば定期清掃などで、リピーターとして継続して来てくださるとうれしいが、現状は一見さんが多数で参加人数が増えない状況です。広く活動を理解して頂く認知して頂くために、広報を強化したいと考えています。パンフレットを作成したり、イベントを開催したりして、今までは手間や時間をかけて「大阪海さくら活動中」みたいな宣伝をしていましたが、SDGsやブルーカーボンなどが世の中の注目されている時代なので、開催されるイベント情報を得てブース出展するみたいな、たくさん参加するイベントに飛び込んで宣伝するような形も取っていただけると考えます。ゴミ拾いする人になってポイ捨てしない人を増やすため、参加者を増やす努力を継続していきます。

また、アマモ藻場形成に関しても今年度には早春に植え付けしたアマモ苗が夏まで生息が確認できたため、さらに大阪湾内のアマモ北限を目指して継続していこうと考えています。



4. 代表者又は担当者からのひとこと

同じ時期に助成金を頂いている団体さんとの交流の機会を作って頂き、こういうことは初めてのことでしたが、7月大阪海さくら主催の、帆船に乗って海を学ぶイベントには、イドミ様が子どもたちと参加してくださいました。ありがとうございました。

交流会で思ったことは、阪神高速道路様が助成されている団体は幅広いジャンルであるということに感動いたしました。自然環境、山と海、そして親と子や、赤ちゃんを守ること、また子どもが明るく元気に学んでゆく大切な場所の応援などです。

それらの団体の皆様にお会いできてとても嬉しかったです。私も知り、勇気づけられました。

また、アマモの育苗にも参加いただき、実際に海の尊さをご理解いただきありがとうございました。

明るく活動的な阪神高速道路の皆様にお会いできてよかったと思っております。

今後ともよろしくお願ひ致します。

